

チェブケリ（鮭皮の靴）

アイヌの伝統的な冬服には、動物の皮など、分厚く暖かい毛皮が頻繁に用いられます。サハリンと呼ばれる北海道の北方にある大きな島に住むアイヌ人たちはチェブケリという鮭皮を用いた靴を使用していました。鮭皮はとても丈夫な素材で風や水の侵入を防ぎ、鱗が滑りやすい氷の上でも摩擦力を生み出します。また、履き心地と断熱性を保つため、これらのチェブケリには乾いた草が詰められました。